2026　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	国際医療福祉	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	後期	教室名	課外授業(アメリカ合衆国)
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

海外研修を通して専門分野の世界標準を常に意識し、自分が習得した知識やスキルが世界の中でどの程度なのかを理解し、国境を越えても活躍できる能力を身につける。また専門分野のことに加えて自国の制度、歴史、伝統などを理解し日本人としてのアイデンティティーを持って海外の人とコミュニケーションができるようになることが目的。その為にアメリカの理学療法や医療制度、文化について学習する。

《成績評価の方法と基準》

・出席(80%)、受講態度(10%)、学生発表(10%)にて評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

テキスト:　なし(関連資料等の配布あり)

《授業外における学習方法》

1.それぞれの講義実習について予習をし質問等も考えておく。
2.アメリカの文化についての事前学習。
3.プレゼンテーション、文化交流の準備。

《履修に当たっての留意点》

講義では積極的に質問したり意見を述べたりできるよう、不明な言葉の読み・意味を調べておくなどの事前学習が可能であれば、しっかりとやっておきましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	人体の骨の部位を特定しその部位に関する解剖について説明する事ができる。	配布資料	事前学習 骨解剖について教科書を読む。(30分) 事後学習 授業課題の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖実習①		
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	仰臥位標本の解剖学的位置配置を説明することができる。	配布資料	事前学習 体幹前面の解剖について教科書を読む。(30分) 事後学習 授業課題の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖実習②		
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	腹臥位標本の解剖学的位置配置を説明することができる。	配布資料	事前学習 体幹後面の解剖について教科書を読む。(30分) 事後学習 授業課題の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	解剖実習③		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	日本、アメリカの文化の違いについて説明することができる。	配布資料	事前学習 アメリカの文化について調べ学習。(30分) 事後学習 分科交流の内容をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	文化交流		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	日本の医療・介護制度について説明する事ができる。	配布資料	事前学習 日本の制度についてまとめる。(30分) 事後学習 文化交流の内容をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	文化交流		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	頚椎可動不全の評価について説明する事ができる。	配布資料	事前学習 頚椎の解剖について予習。(30分) 事後学習 配布資料の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	講義:整形		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	頚椎可動不全の評価を実施する事ができる。	配布資料	事前学習 頚椎の解剖について予習。(30分) 事後学習 配布資料の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	実習:整形		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン治療法について説明することができる。	配布資料	事前学習 パーキンソン病について予習。(30分) 事後学習 配布資料の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	講義:パーキンソン治療法		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン治療法を実施する事ができる。	配布資料	事前学習 パーキンソン病について予習。(30分) 事後学習 配布資料の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	実習:パーキンソン治療法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカと日本の理学療法教育、診療の違いを説明することができる。	配布資料	事前学習アメリカの理学療法について調べ学習 。(30分) 事後学習 配布資料の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	アメリカの理学療法教育と理学療法診療の歴史		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者を通して、適切な介助やリスク管理を行うことができる。	配布資料	事前学習 リスク管理について予習。(20分) 事後学習 配布資料の復習。(40分)
		各コマにおける授業予定	施設見学:医療模擬実習ラボ		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	アメリカと日本の病院の違いを説明する事ができる。	配布資料	事前学習 アメリカの病院について調べ学習。(30分) 事後学習 見学内容をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	施設見学:アメリカの病院		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカにおける小児理学療法の実際について説明することができる。	配布資料	事前学習 テキストを読んでおく。(30分) 事後学習 資料整理と復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	講義:小児の理学療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ障害における評価方法について説明することができる。	配布資料	事前学習 スポーツ理学療法について予習。(30分) 事後学習 配布資料の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	講義:スポーツ理学療法		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	日本とアメリカの理学療法や文化の違いについて説明することができる。	配布資料	事前学習 日本の理学療法、文化について理解しておく。(30分) 事後学習 研修内容をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	まとめ		